

# 奥深い歴史と文化芸術を探訪



那珂川町  
なす風土記の丘資料館

那珂川町周辺は、那須古代文化の特性をあらわす数多くの遺跡が残されています。それらの保存と活用を図るため、栃木県が資料館を設置し、2015年に町に移管されました。

資料館では、縄文時代から奈良・平安時代までの歴史を紹介した常設展示のほか、特別展、風土記講座や体験講座など、古代体験・学習の場として多くの方々に利用されています。



那珂川町馬頭広重美術館

館内は重要文化財クラスと評価される、江戸時代の浮世絵師、歌川広重の肉筆画をはじめ、歌川派の浮世絵師・小林清親を中心とした明治版画、日本洋画界創始期の画家・川村清雄の油絵、徳富蘇峰の書など、貴重な名品の数々が展示されています。

常設されるこれらの名品のほか、美術館では年間を通していろいろな企画展も開催され、多くのリピーターが訪れます。



年3回の企画展を中心に、イベントワークショップを開催しています。

もうひとつの美術館

小口にある「もうひとつの美術館」は、明治・大正の面影を残し、築100年を越える旧小口小学校の校舎を再利用して2001年8月に開設されました。

ハンディキャップを持つ人たちの芸術活動をサポートしながら「みんながアーティスト」「すべてはアート」をコンセプトに、オールブリット、アウトサイダーアートを主なテーマに掲げる日本で最初の美術館です。

# ひっそりとたたずむ寺院、仏閣、建造物に触れる



馬頭院  
ばとういん

馬頭にある馬頭院は、武茂山十輪寺と称し、馬頭観世音菩薩を本尊とする真言宗智山派の寺院です。創建は1217年と伝えられます。

境内には本堂をはじめ、観音堂、開山堂などを備え、近年改修はされているものの、堂内の柱など

は造営当時の部材がそのまま使われています。ご本尊である木造の馬頭観世音菩薩は鎌倉初期の作で、町の文化財に指定されています。

本堂前には、約300年前に水戸光圀が訪れた記念として植樹されたと伝えられる「三度栗」があり、県の天然記念物に指定されています。

乾徳寺  
けんとくじ

曹洞宗の禅寺乾徳寺の創建は、1499年といわれ、境内背後の武茂城跡は、乾徳寺の境内と共に1990年栃木県指定史跡に指定されているほか、木造釈迦如来像、武茂氏墓碑(10基)、武茂城の城門を移築したと伝わる山門などは、町指定文化財に指定されました。

また境内には、樹齢約200年の白藤(のぼり藤)をはじめ、四季折々の花があふれ、訪れる人の心を癒しています。

長泉寺  
ちようせんじ



白久にある白久山長泉寺は、1491年に創建された曹洞宗の寺院です。

美しい庭と朱塗りの三重塔があり、花の寺として有名です。特に春にはたくさんの牡丹が見ごろとなり、美しい境内がさらに鮮やかに彩られます。

鷺子山上神社  
とりのかみじょうじんじや

栃木県と茨城県の県境に位置し、千年杉に護られた鷺子山上神社の創建は807年といわれ、県境が大鳥居と御本殿の中央を通るといって、全国でも珍しい神社です。



御祭神が天日鷲命という鳥の神様であることから、幸福を招く神様のお使いとして『不苦勞』『福老』とも記されるふくろうが崇敬され、別名「ふくろうの神社」ともいわれます。

境内には日本最大級の大ふくろうをはじめ、多くのふくろう像があり、運氣上昇、金運の福德、パワースポットとして全国から多くの人々が来山します。

1788年に再建された御本殿や、1815年建立された楼門(安養閣)などは両県の指定文化財に指定されています。



# 自然の恵と癒しを堪能



ゆりがねの湯

## 馬頭温泉郷

小口には、那珂川の清流に寄り添うように「ゆりがねの湯」と、大・小の温泉宿が点在し、那須連山・日光連山・高原山を一望できる温泉郷があります。

泉質はアルカリ単純泉で肌が滑らかになることから「美人の湯」と呼ばれ、多くの人々に親しまれています。

また、多くの温泉は西向きであり、夕刻には紅く沈む夕日が眺められ、「夕焼け温泉郷」とも呼ばれています。



馬頭温泉郷から望む夕焼け

## まほろばの湯 湯親館

小川総合福祉センターに併設される「まほろばの湯」は、大浴場の内風呂と、那珂川の流れを聞きながら那須連峰が望める露天風呂のほか、電気風呂、水風呂、ジェットバス、気泡浴、遠赤外線サウナなど、さまざまな部分浴を楽しむことができます。



まほろばの湯 湯親館

湯量も豊富であり、泉質は芒硝泉といわれる県内でも数少ない温泉で、鎮静作用や動脈硬化症に適する優れた効能を持ち、別名脳卒中の湯とも呼ばれています。

宿泊施設も併設しており、温泉の効能をいかした健康づくりと保養に役立つよう設置されています。

# 「まちのプライド」 特産品と人の交流



道の駅ばとう



武茂の郷のシエラートアイス



ししまるぞぶ



桃太郎トマト



柚子（無着色）こんにゃくゼリー



レストランばとう

## 道の駅ばとう

国道293号沿いの「道の駅ばとう」は、観光センターと物産販売施設が主要施設となり、町内の観光案内や、地元産の新鮮野菜・果物・特産品が販売されています。

大型駐車場が完備され、連日県内外のお客様で賑わっています。

また、季節の地元産野菜をふんだんに使用したメニューが好評のレストランも併設されているほか、フードコーナーなども充実しています。

## 農産物直売所

町内には「道の駅ばとう」をはじめ、8か所の農産物直売所があり、有機肥料の利用により農薬使用を少なくした安全・安心な地元産の新鮮野菜や果物を提供するなど、消費者と生産者との交流を大切にし、ニーズにあった農産物を販売しています。



久那瀬農産物直売所



# 那珂川町特産品紹介



## 小砂焼

町が誇る伝統ある焼き物、小砂焼。良質の陶土による堅牢な品質と深い光沢、黄金色に輝く「金結晶」の優美な色艶が特長です。



## 那珂川産鮎

関東地方屈指の清流・那珂川は、昔から天然鮎の聖地として多くの釣り人に愛されてきました。平成10年度以降の鮎の漁獲高においても日本一を続けており、塩焼きや甘露煮などで親しまれています。



## 八溝そば

那珂川町内には、地元産のそば粉を使用したこだわりのそば処が多く存在し、自然の中で食する風味豊かなそばは格別と昔から多くの人々に愛されています。それぞれ個性的な店の味を食べ比べすることもおすすめです。



## 温泉水で養殖する とらふぐ

『温泉水と温泉熱を用いた完全循環閉鎖型トラフグ養殖システムの開発』の業績で公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会から開発功労者表彰・野口勝明さん

## 温泉とらふぐ

テレビで話題になった栃木県那珂川町の温泉とらふぐ。塩分を含む温泉水で養殖し、海産養殖と比較して遊離アミノ産(うまみ成分)が20%程多く含まれ、とらふぐの甘味を堪能できます。町内の温泉旅館や飲食店でお召し上がりいただけます。



## 里山ほんもろこ

ほんもろこは滋賀県の琵琶湖に生息している琵琶湖特有の高級魚です。那珂川町では、休耕田を活用して、現在では、町内6か所で養殖に取り組んでいます。骨ごと全部食べられる魚で、カルシウムを取ることができます。



## 馬頭高校産フレッシュキャビア

馬頭高校は全国で唯一、淡水専門の水産科を持ち、淡水で飼育できるチョウザメを20年近く養殖してきました。『馬頭高校産フレッシュキャビア』は、全国の高校水産科では初めての取り組みとして注目されており、愛称は「那珂川の恵み香る」です。



## 八溝ししまる

『八溝ししまる』とは、那珂川町を含む八溝山系地域でとれた野生のイノシシのお肉です。元気に自然豊かな八溝の野山を駆け回り、美味しい山の幸を食べたイノシシなので質の良いお肉が頂けます。馬頭温泉郷や飲食店、食品加工店などでは、八溝ししまるを使った独自の料理を提供しています。



那珂川町の優れた商品を「那珂川町ブランド」として認定することにより、認定商品および町のイメージを高め、町の活性化を図っています。認定基準に商品をご購入されたお客様の評価を取り入れ、お客様の評価が高いものを認定しています。



## 遊休農地で 里山ほんもろこを養殖

コイ科の小魚で、淡白で肉質が良く骨は柔らかく、関西では高級魚として扱われています。県立馬頭高校水産科が養殖を成功させたのをきっかけに町内休耕田での養殖が進められ、新たな町の特産品として注目されています。

## 那珂川町ブランド 認定品とは

那珂川町の優れた商品を「那珂川町ブランド」として認定することにより、認定商品および町のイメージを高め、町の活性化を図っています。認定基準に商品をご購入されたお客様の評価を取り入れ、お客様の評価が高いものを認定しています。